

精神保健福祉援助実習指導Ⅰ

担当教員 茶屋道 拓哉、平川 泰士、福崎 千鶴

配当年次 4年

開講時期 通年

単位区分 選択

授業形態 演習

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

- ①精神保健福祉援助実習の意義について理解した上での態度を身につける。②精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について説明できるようになる。③個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術等を体得する。④精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。⑤具体的な体験や援助活動を、価値や倫理に基づき、専門的知識及び技術として習得していく。

【授業の展開計画】

週	授業の内容	週	授業の内容
1	実習指導における個別/集団指導の意義	16	精神科病院/障害福祉サービス事業所の理解
2	現状に関する基本的な理解①精神疾患・障害	17	巡回指導・スーパービジョン①
3	現状に関する基本的な理解②専門用語	18	帰学指導・スーパービジョン①
4	現状に関する基本的な理解③精神保健福祉法	19	帰学指導・スーパービジョン②
5	現状に関する基本的な理解④社会保障制度等	20	巡回指導・スーパービジョン②
6	現状に関する基本的な理解⑤権利擁護制度	21	帰学指導・スーパービジョン③
7	現状に関する基本的な理解⑥総合支援法	22	帰学指導・スーパービジョン④
8	現状に関する基本的な理解⑦地域の社会資源	23	課題の整理と総括レポートの作成（集団①）
9	実習で必要とされる知識や技術の理解	24	課題の整理と総括レポートの作成（集団②）
10	職業倫理と法的責務に関する理解	25	課題の整理と総括レポートの作成（個別①）
11	プライバシー保護と守秘義務の理解	26	課題の整理と総括レポートの作成（個別②）
12	記録内容及び記録方法に関する理解	27	実習指導者を含めた実習報告会の実施①
13	三者（実習生、教員、指導者）協議会	28	実習指導者を含めた実習報告会の実施②
14	実習先の理解と実習計画の作成	29	実習指導者を含めた実習報告会の実施③
15	精神科病院/障害福祉サービス事業所の見学	30	実習指導者を含めた実習報告会の実施④

【履修上の注意事項】

- 1 本科目と同時に履修する精神保健福祉援助実習との関係から、常に臨床場面を想定し、専門職としてのロールプレイ・演習・事例検討中の発言・事前学習準備など主体的参加を求める。
- 2 必要に応じて用いられるケースや学生同士の自己開示における専門職業人としての守秘義務の徹底。
- 3 実習や事例学習にて得られた知見をもとに専門職としての自己と重ね合わせながら振り返りを行うこと。

【評価方法】

実習報告書・事例検討報告書等による評価（60%）
スーパービジョン時の応答や態度、チームとして取り組む姿勢（40%）

【テキスト】

特に指定しない（必要に応じて随時資料配布）

【参考文献】

日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座 9 精神保健福祉援助実習指導・実習』中央法規